

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年3月20日

事業所名 こばんはうさくら 網島教室

保護者等数(児童数) 34 回収数 28 割合 82 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	5		1	過ごす分には良いが、体を動かす活動の時など考えるともっと広くてもよいのではないかと。	職員配置や自動の動線確保などのルールを設定し、実施していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26			2	先生の入れ替わりが多いのが少し気になります。	職員の研修を積極的に行い、専門性を高めていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	2	2	5		2階に上がる際のエレベーター使用が難しいので、車いす等に関しては今後対応を考え実施していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25	3			どうやったら安心して通えるかをもう少し考えてほしい。	アセスメントを適切に行い、保護者、利用者のニーズを分析し職員間で十分な話し合いをして作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25	3			毎日違ったプログラムが考えられています。とてもありがたいです。	利用者に応じたプログラムを立案し、楽しく取り組めるよう工夫しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	3	9	4	放デイでは特に必要とまでは思いません。特に求めてもいません。	現状としては支援時間の関係上実施が難しい状況です。必要があれば支援計画に組み入れた上で実施をしていきます。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	1	1		毎回の様子は送迎時、連絡帳の1~2行では不足していると感じる。	契約時に丁寧な説明を行い理解していただけるようにしています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	4			毎回の様子は送迎時、連絡帳の1~2行では不足していると感じる。	連絡帳や送迎時の連絡、面談その他の機会を使い、共通理解を図っています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	3	1		有識者(医師・心理師等)の助言があると良い。会社の体制として。	送迎時における声掛けやお知らせの配布を行い、必要に応じて随時面談や相談等の支援を行っています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	4	8	9	他の保護者とかかわりがないように思います。特に求めてもいません。希望していない。	保護者の希望等により実施できるよう検討、計画していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	2		4		連絡帳の有効活用や送迎時における報告、電話対応等を迅速に行い、職員全員で真摯に対応することを徹底していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	3		1		利用者や保護者の状況を鑑みて、意思疎通や情報伝達のための配慮を適宜行わせていただいています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25	1		2	こばん新聞では内容や様子は伝わってこない。	ホームページにて掲載、報告しています。時期を明確にお知らせ等でお伝えし、周知していきます。
14 個人情報に十分注意しているか	24			4		個人情報管理の徹底を職員全体に周知し、順守していきます。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	2		4		マニュアルを策定し担当者を決めています。情報をお便り等でお伝えしていますが、連絡帳も活用して広く知っていただくよう対応していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26			2		訓練の様子などを会報誌やSNSを利用し積極的に報告していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	26	1	1		高学年になり習い事等含め、友達と遊ぶ時間が欲しい様子	環境設定や積極的に参加できるプログラムを立案し、楽しく通所していただけるよう努めていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	25	2	1		知的や見てわかりやすい障害に比べ、精神障害への理解が薄いと感じる。	今後も皆様にご満足いただけるよう努めてまいります。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20 日

事業所名 こぱんはうすさくら 網島教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1		プログラム内容によって狭く感じることもあるので、職員配置や動線、机の配置等を考え、適切に支援できるよう告知していきます。
	2	職員の配置数は適切である	1	2		基本配置と当日の役割確認を周知し、適切な人員で支援していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1	教室や施設内は段差や物の配置を考え、フラットになるように配慮しています。	2階に上がる際にエレベーターが使用できないので、車いすでの利用については今後対応を考え実施していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	1		意識的に取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		いただいた指摘を職員で話し合い、改善内容を文章化して実践するように努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		ホームページに掲載しています。	会報やホームページ等を用いて結果をどのように確認できるか周知していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		他教室との交換支援を行っています。	外部評価の結果内容を職員全体で精査・周知し、業務改善につなげていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		定期的に内部研修を実施し、外部研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		カンファレンスを随時行い、計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		担当者を決め、担当者は他の職員と相談し立案するようにしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		プログラム案を複数の職員に立案してもらい、多くの発案の中から選択しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3		利用者が効果的に楽しく学べるよう状況に応じて課題を設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		必要に応じて活動内容を支援計画に反映させています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		朝礼、昼礼を活用して毎日職員全体に確認、周知しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		3		帰りの送迎ルートを考慮し、時間を設定して職員間で共有できるように努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		業務日誌を活用し、検証および改善につながるよう記録をしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		利用者の状況を把握し、必要に応じて面談を行って保護者との意思疎通を図り、見直しを行っています。	見直しの変更内容を職員全体に共有し、よりよい支援に繋がっていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		管理者、児発管や担当職員が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3		送迎時、児童の引き渡しを行う際に、家庭や学校での様子また事業所での様子など情報交換を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	該当児童無し	必要に応じて病院からの情報を職員全体に周知しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3	該当児童無し	まだ学校を卒業している利用者がいないため実施していませんが、今後状況に合わせて行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2		今後の状況に合わせて検討・実施していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	港北区自立支援協議会に参加しています。	参加できる機会にはオンライン等も含めて参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		送迎時や電話相談、面談開催など積極的に意思疎通を図るよう努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている		3	来年度より開催予定です。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		契約時に丁寧に説明しています。それ以後の質問にも真摯に対応するよう努めています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		担当職員を決め、真摯に対応するよう心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	コロナ禍が明けたので、今後対応検討していきます。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		迅速、真摯に対応するよう心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		会報誌を毎月発行しています。定期的にお便りも配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	3		職員に周知徹底しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		送迎時や連絡帳の活用を通して保護者との意思疎通が有効に行えるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		年度初めにお便りを配布しています。	定期的なお便りなどを配布して周知していきます。職員全体にマニュアル研修等を行い周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		定期的に災害に応じた訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		動画視聴や職員全体への研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		必要に応じて契約時に丁寧に説明しています。	他害の可能性がある利用者については保護者に同意をいただいています。支援に入る前に利用者の前までの様子を職員全体で周知し、変わった様子が見られた時は迅速に報告しあうようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		職員全体に周知するために、おやつ の保管場所に大きく掲示し可視化しています。	食育プログラム前には職員間で必ず申し送り、周知を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		共有ファイルを活用し、朝礼、昼礼にて職員への報告を行っています。	